



©Natsu Asaba 2026 イラスト/くろのくろ

神様ってちよつとヘン!?
ポップに生きる日本の神様

神様の御用人展

2026 **1.31** 土 — **3.15** 日
さいたま文学館 文学展示室 10:00 - 17:30

【観覧受付】17:00 まで 【休館日】毎週月曜日（2/23（月）を除く）、2/24（火）
【料金】一般 210 円、学生 100 円、一般（団体）120 円、学生（団体）60 円
※中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方（介助者 1 名含む）は無料 ※団体は 20 名以上

主催：さいたま文学館【指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス】
監修：KADOKAWA
企画／制作／展示施工：東映エージェンシー
協力：三峯神社／武蔵御嶽神社／武蔵野坐令和神社

『神様の御用人』シリーズ
著者、浅葉なつ先生の
トークイベントを開催します。
ここだけでしか聞けない
執筆秘話が飛び出すかもしれません。
お楽しみに！

浅葉なつ先生トークイベント

2026. **2.8** 日 12:30 開場 13:00 - 14:00 **プリマカフェ**
(さいたま文学館併設)

定員 25 名（先着順／要申込） **参加費** 無料（飲食代別途必要）

申込方法 1/10（土）9:00 ～

電話・来館・お申込みフォーム（右記）にて受付

※お申込み時にセットメニューを選択していただきます。

※詳細は文学館ウェブサイトをご覧ください。



本展では、
浅葉なつ著『神様の御用人』シリーズを、
最新作『神様の御用人 見習い』
を中心に紹介します。

最新作は、御用人見習い・桜土朗と
三峰の眷属・白狼の青藍の物語になります。

武蔵野の守り神「白狼」や
作中に登場する愉快な神様の姿など、
作品の背景を埼玉とのゆかりを織り交せて
ご覧いただけます。

古来より八百万の神々は
日本人とともに在り続けてきました。

ちよつぱり愉快で個性的な神様たちを
『神様の御用人』を通してお楽しみください。

**著者
紹介**

あさば **浅葉なつ**

愛媛県生まれ、神戸市在住。

第 17 回電撃小説大賞で、
<メディアワークス文庫賞>を受賞し、
『空をサカナが泳ぐ頃』でデビュー。

『神様の御用人』シリーズが人気を博し、
2026 年時点で同書はシリーズ累計 230 万部を突破した。
2020 年『どうかこの声が、あなたに届きますように』が、
第一回読者による文学賞の大賞を受賞。

【著書の紹介】『神と王』、『カカノムモノ』などがある。

**シ
イト
ベ**

彩の国 埼玉県 **さいたま文学館**

〒363-0022 埼玉県桶川市若宮 1-5-9（JR 高崎線桶川駅西口から徒歩 5 分）TEL.048-789-1515



コパトン &
さいたままっし



ウェブサイト

Instagram

X (旧 Twitter)

